

オスプレイの運用における安全確保の徹底について（口頭要請）

令和5年9月14日に、米海兵隊普天間基地所属のMV-22オスプレイ2機が奄美空港に予防着陸、同基地所属のMV-22オスプレイ2機が新石垣空港に予防着陸、9月16日に、同基地所属のMV-22オスプレイ1機が大分空港に予防着陸、9月21日に、同基地所属MV-22オスプレイ1機が奄美空港に予防着陸を行った。

2週間足らずの間に、計4回、6機のオスプレイが予防着陸を繰り返している。

飛行中の機体のトラブル発生は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

特に、オスプレイについては、本年8月にオーストラリアで墜落事故が発生するなど、基地周辺住民の中にあっては、安全性に対する不安の解消に至っているとは考えられず、飛行運用に対する不安を更に募らせることも懸念される。

については、オスプレイの運用に当たり、機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安が解消されるよう、貴職から米軍に対して、不具合の原因究明を行い、再発防止の徹底を図るとともに、点検整備を強化し安全確保の徹底を図るよう申し入れることを要請する。

令和5年9月22日

北関東防衛局長 二又 知彦 殿

東京都知事 小池 百合子